



やまざきまさゆき
山崎 正行

しみんくらぶ
市民クラブ

各地域の小学校再編後の課題について

問 少子高齢化で児童・生徒の減少が続く各地域の小学校区再編後の空き校舎及び付随施設の利活用については、地域住民の皆さんとともに、閉校後の地域のあり方と合わせ、行政・教育委員会・地域で一体感をもって議論を行い、地域の皆さんの不安を解消するとともに、活力の低下を防がなくてはならない。縦割り行政を越えた徹底した議論を求める。

答 再編後の閉校した学校跡地の利活用については、できるだけ早期に方向性を決める必要があることから、平成26年4月から新しい学校がスタートする一志地域においては、再編準備と並行して、跡地利用について地元の方々と協議をしながら方向を定めていく。

また、グラウンドや体育館等の学校施設は、地域のコミュニティ、防災、生涯学習、スポーツの場として地域活動の一つの拠点的機能を担ってきたことから、閉校後も同様の形での貢献を地域の方々も望まれるものと考えている。

すでに、大井地区では、地域での協議の場に、総合支所長及び教育委員会の事務所長等も参加しており、地元の方々としつかりと話し合いを進めていく。

●その他の質疑・質問●

- 遅々と進まない劣悪な橋梁補強工事と、不安が払拭されない治山事業について
- 市民の生命・財産の担保と、防災推進に技術系職員の充実を
- 防災行政無線の劣悪な伝達状況に対し、早急な補完を
- 喜ばれる敬老事業（75才）、元気の出る老人会組織づくりに
- 市民目線で疑義の残る新斎場建設、透明度の高い契約を



▲来年（平成26年3月）で閉校となる津市立大井小学校



まえだかつひこ
前田 勝彦

けんとくらぶ
県都クラブ

高齢者グループホームの設備について

問 2月8日の夜、長崎市の認知症高齢者グループホーム火災により4人の高齢者の方が亡くなられる痛ましい事故があった中で、設置義務があるスプリンクラーを設置している高齢者グループホームは市内に何箇所あるのか。その設置状況と設置に係る国・県及び市の支援はどうか。

また、夜間の避難訓練の実施状況はどうか。

答 市内の高齢者グループホームは、平成25年2月1日現在で30施設あり、このうち25施設にスプリンクラーが設置されている。なお、未設置の5施設については、消防法施行令により設置対象外の施設である。

スプリンクラー設置に係る国・県及び市の支援については、22施設が国庫支出金による補助金を活用して設置しており、設置対象外の施設に対しても当該補助金制度活用の周知を図っている。

また、夜間の避難訓練の実施状況については、職員の招集訓練を含め5施設で実施しており、夜間を想定した昼間の避難訓練は18施設で実施している。

このほかの施設についても、実情に応じた避難訓練を実施している。

●その他の質疑・質問●

- 農業基盤整備の推進から農業用ため池は市内に何箇所か。危険整備の必要は何箇所か。耐震性調査と改修計画、整備方針は
- 戸籍や納税などの住民情報の漏えい対策は
- 職員の健康診断について、要検査や要治療などの職員に対しての指導と受診状況は
- 特別支援教育支援員の配置と市独自の学級定数改善は



▲市内の高齢者グループホーム